

米の基本指針（案）に関する主なデータ等

令和 3 年 1 1 月
農林水産省農産局

目 次

○ 令和3/4年及び令和4/5年の主食用米等の需給見通し	2
○ 米穀周年供給・需要拡大支援事業とコロナ影響緩和特別対策による支援イメージ	3
○ 全国農業地域・都道府県別作況指数（令和3年10月25日現在）	4
○ 令和3年産水稻の作付面積及び10月25日現在における作柄概況	5
○ 米の販売数量及び民間在庫の推移（令和3年9月）	6
○ 産地別民間在庫の状況（令和3年9月）	7
○ 産地と卸間の相対取引価格の推移	8
○ 令和3年産米の相対取引価格（令和3年10月の年産平均価格）	9
○ 相対取引契約数量の推移	10
○ 令和2・3年産米のスポット価格の推移（令和3年11月15日時点）	11
○ 令和3年産の水田における作付状況（令和3年9月15日時点）	12
○ 令和3年産の水田における都道府県別の作付状況（令和3年9月15日時点）	13
○ コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況	15
○ パックご飯・米菓・日本酒の輸出実績の推移	16

令和3/4年及び令和4/5年の主食用米等の需給見通し(令和3年11月基本指針(案))

【令和3/4年の主食用米等の需給見通し】

(単位: 万トン)

令和3年6月末民間在庫量	A	218	→ 181 【37】
令和3年産主食用米等生産量	B	701	
令和3/4年主食用米等供給量計	C=A+B	919	→ 904 ≪15≫
令和3/4年主食用米等需要量	D	702 ~ 706	
令和4年6月末民間在庫量	E=C-D	213 ~ 217	→ 198~202 ≪15≫

令和2年産米について
37万トンの調整保管
(うち15万トンは特別
枠)に取り組む場合の
見通し

注1：欄外の「令和2年産米について37万トンの調整保管（うち15万トンは特別枠）に取り組む場合の見通し」については、令和3/4年において、令和2年産米の37万トンのうち22万トンが供給され、15万トンについてコロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む場合の見通し。
注2：主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

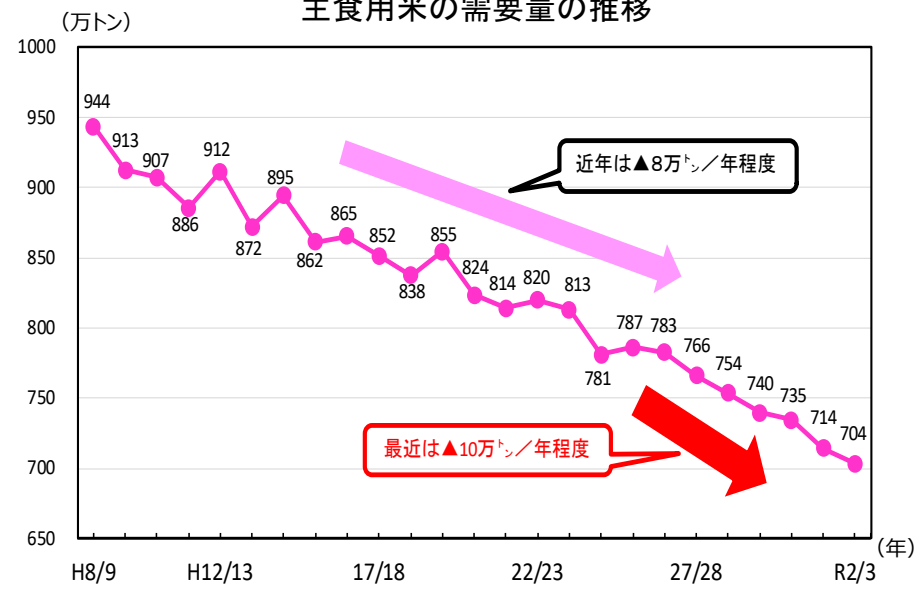
【令和4/5年の主食用米等の需給見通し】

(単位: 万トン)

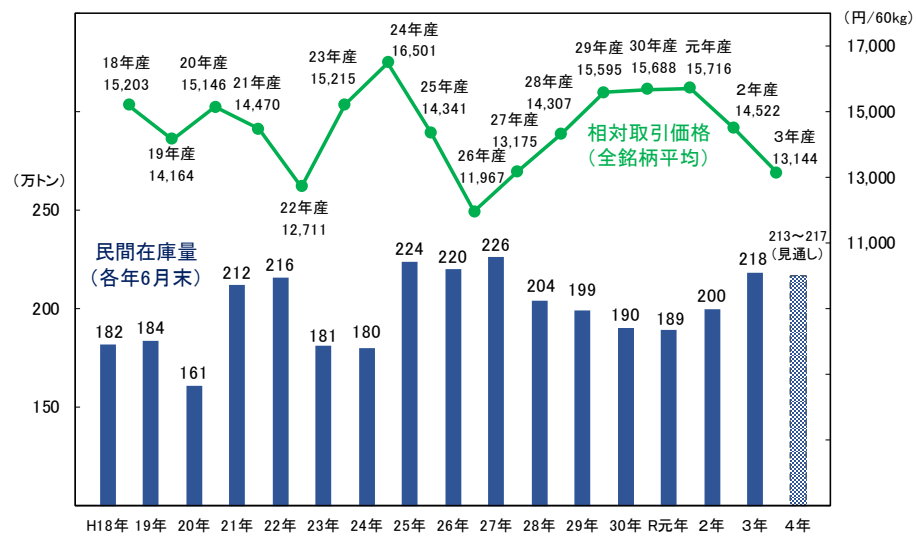
令和4年6月末民間在庫量	E	213 ~ 217	→ 198~202 ≪15≫
令和4年産主食用米等生産量	F	675	
令和4/5年主食用米等供給量計	G=E+F	888 ~ 892	→ 873~877 ≪15≫
令和4/5年主食用米等需要量	H	692	
令和5年6月末民間在庫量	I=G-H	196 ~ 200	→ 181~185 ≪15≫

注1：欄外の「令和2年産米について37万トンの調整保管（うち15万トンは特別枠）に取り組む場合の見通し」については、令和2年産米の15万トンについてコロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む場合の見通し。
注2：主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

主食用米の需要量の推移



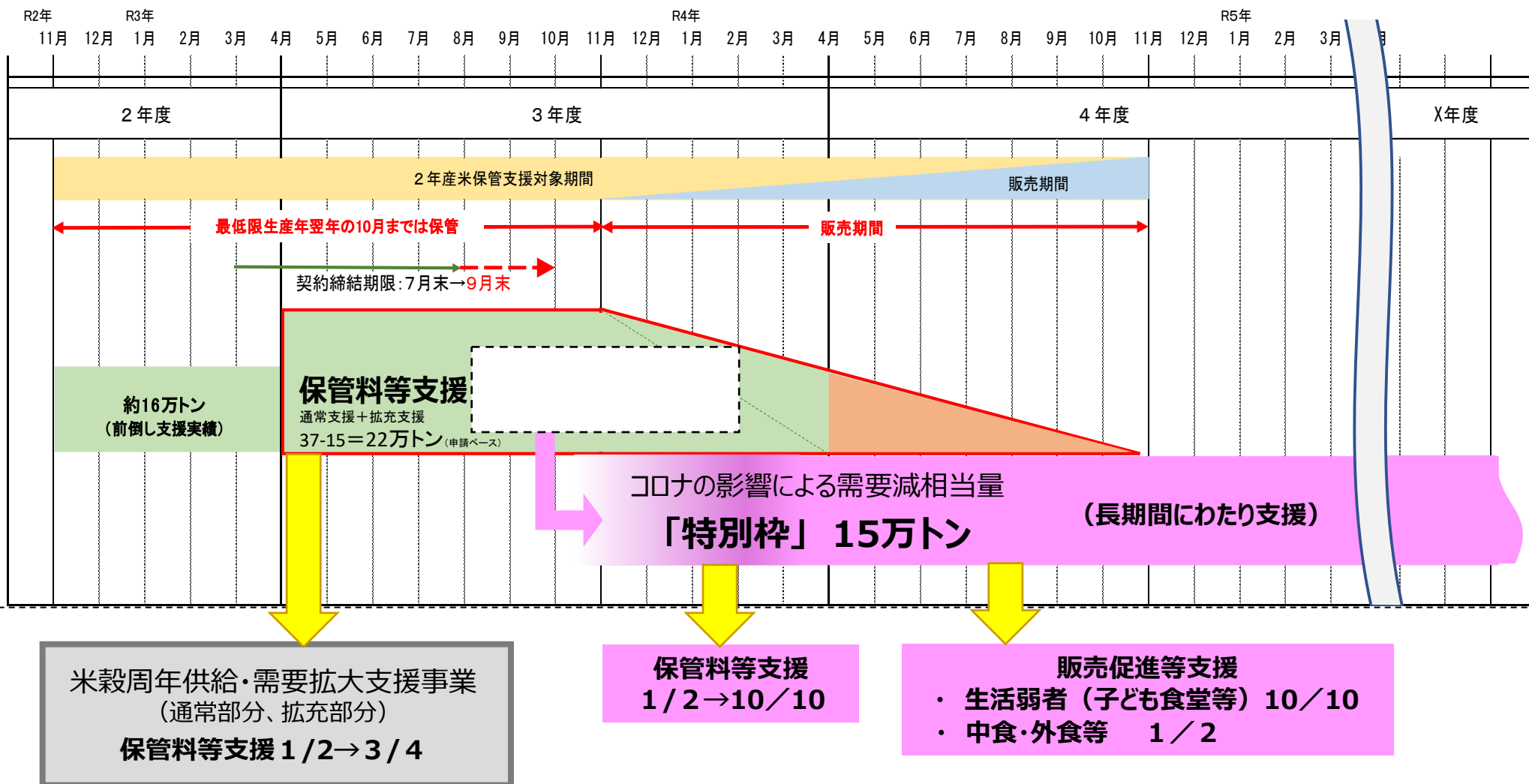
相対取引価格と民間在庫量の推移



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月（2年産、3年産は令和3年10月）までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている（2年産、3年産は速報値）。

米穀周年供給・需要拡大支援事業とコロナ影響緩和特別対策による支援イメージ

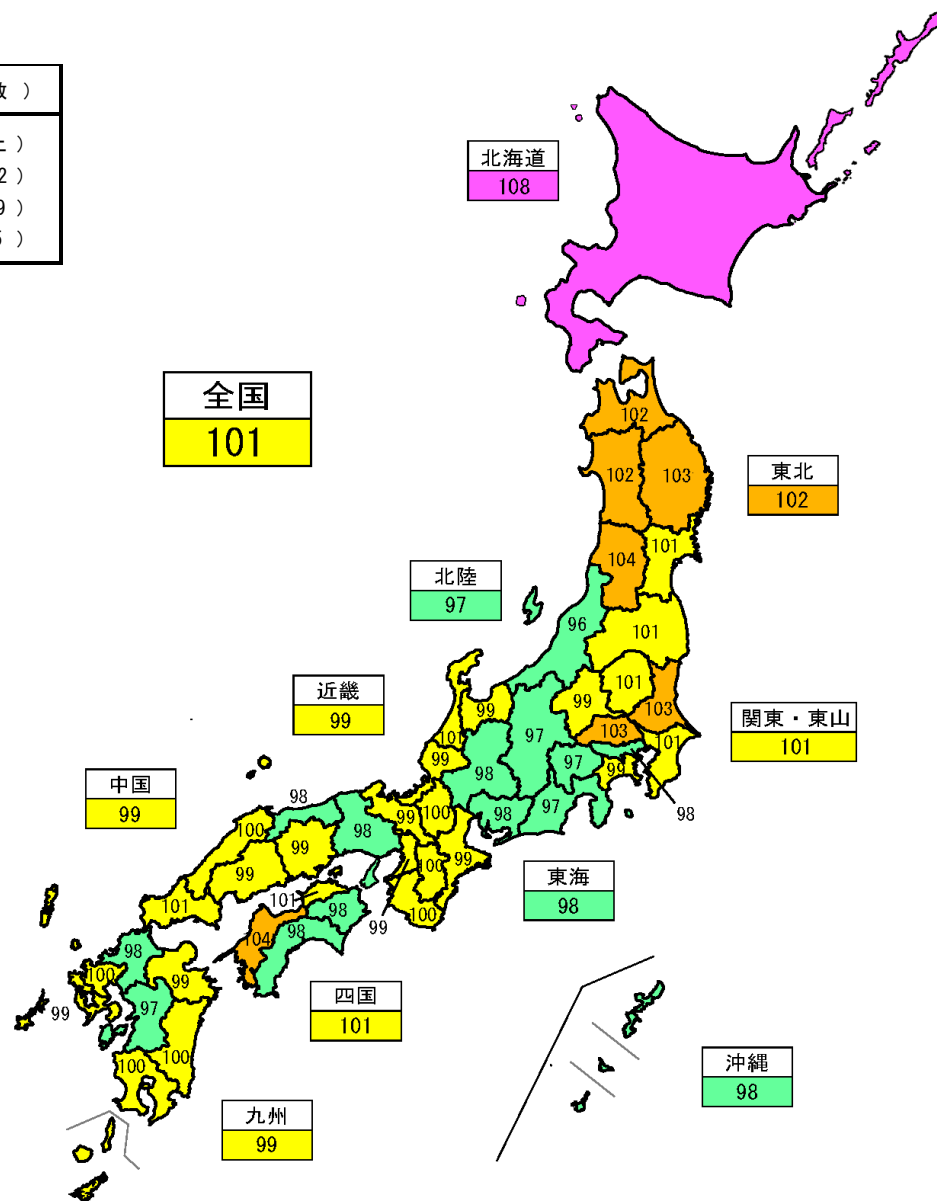
【令和2年産米の保管経費等の拡充支援イメージ】



※ 保管経費等の支援の拡充：国費及び民間団体における資金で対応

全国農業地域・都道府県別作況指数(令和3年10月25日現在)

作 柄 の 良 否 (作 況 指 数)		
	良	(106 以 上)
	や や 良	(105 ～ 102)
	平 年 並 み	(101 ～ 99)
	や や 不 良	(98 ～ 95)



注: 1 作況指数は、10a当たり平年収量に対する 10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

2 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通期栽培を合算したものである。また、沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の作況指数の算出には、第一期稲の 10a当たり収量と第二期稲の 10a当たり平年収量の加重平均を用いた。

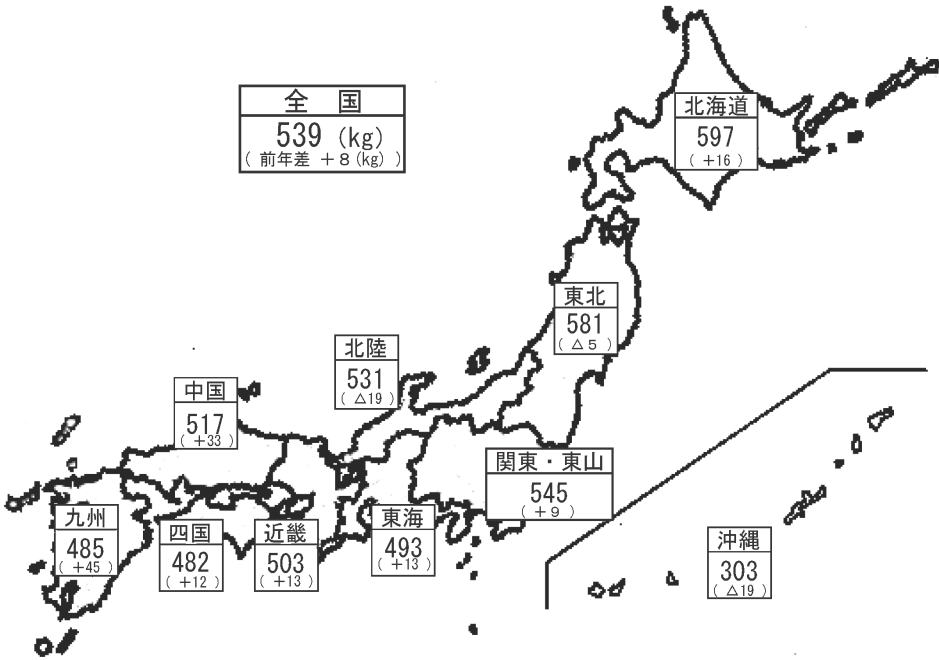
令和3年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

- 令和3年産の主食用米の作付見込面積は、前年産（136.6万ha）から6.3万ha減少の130.3万haとなった。
- 全国の10a当たり予想収量は539kg（前年産531kg）で、作況指数は「101」（前年産「99」）、主食用米の予想収穫量は700.7万トン（前年産722.6万トン）となった。

令和3年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量

全 国 農 業 地 域	作 付 面 積（子 実 用）			10a当たり予想収量		予 想 収 穫 量（子 実 用）			主食用 作付面積	予想 収穫量 (主食用)	作況指数
	実 数 ①	前年産との比較		実 数 ②	前年産との比較		実 数 ③=①×②	前年産との比較			
		対 差	対 比		対 差	対 比		対 差	対 比		
										④	
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全 国	1,403,000	△ 59,000	96	539	8	7,563,000	△ 200,000	97	1,303,000	7,007,000	101
北 海 道	96,100	△ 6,200	94	597	16	573,700	△ 20,700	97	88,400	527,700	108
東 北	363,000	△ 18,500	95	581	△ 5	2,110,000	△ 126,000	94	322,400	1,870,000	102
北 陸	201,800	△ 4,600	98	531	△ 19	1,072,000	△ 63,000	94	177,900	944,600	97
関東・東山	253,100	△ 16,500	94	545	9	1,380,000	△ 64,000	96	240,100	1,309,000	101
東 海	89,600	△ 2,900	97	493	13	441,700	△ 2,300	99	87,600	432,000	98
近 畿	99,300	△ 2,000	98	503	13	499,700	3,700	101	95,700	481,800	99
中 国	98,800	△ 2,400	98	517	33	511,000	21,300	104	95,900	496,100	99
四 国	45,900	△ 1,500	97	482	12	221,400	△ 1,400	99	45,400	219,900	101
九 州	155,100	△ 3,500	98	485	45	752,000	53,500	108	149,300	723,800	99
沖 縄	666	16	102	303	△ 19	2,020	△ 70	97	623	1,890	98

全国農業地域別10a当たり予想収量（10月25日現在）



注：1 10a当たり予想収量及び予想収穫量は、1.70mmのふり目幅で選別された玄米の重量である。
2 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
4 予想収穫量（子実用）及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
5 沖縄県の第二期稲は未確定の要素が多いことから、沖縄県計の10a当たり予想収量及び予想収穫量の算出には、第一期稲の10a当たり収量と第二期稲の10a当たり平年収量の加重平均を用いた。
6 作況指数は、10a当たり平年収量に対する10a当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふり目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

米の販売数量及び民間在庫の推移(令和3年9月)

- 主食用米の需要が1人当たりの消費量や人口減少等の影響により毎年約10万ト(約1.4%)程度減少すると見込まれる中、直近1年間(令和2年1月~12月)においては、新型コロナウイルス感染症の影響等により、中食・外食事業者向けの販売数量が減少している一方で、販売数量が伸びている小売事業者向けを合わせても全体で2%の減少となっている。
- 令和3年9月末現在の全国の民間在庫は、出荷・販売段階の計で対前年同月比+24万トンの214万トンとなっており、前月の対前年同月比+17万トンと比べ7万トン増加しているが、これは令和3年産米の予想収穫量が700万トン「令和3年産水稻の作付面積及び予想収穫量(9月25日現在)」となる中、例年よりも生育が早く、集荷が前倒しされていること等によるものと考えられる。

【米穀販売事業者における販売数量の動向】

	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月 ~12月計	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
小売事業者向け (※平成31年との比較)	101%	112%	124%	110%	95%	104%	103%	105%	102%	103%	101%	108%	106%	107%	96%	84%	92%	108%	99%	99%	101%	100%
														(108%)	(107%)	(104%)	(101%)	(103%)	(102%)	(102%)	(106%)	(101%)
中食・外食事業者等向け (※平成31年との比較)	98%	99%	88%	75%	76%	89%	86%	85%	89%	92%	92%	92%	88%	87%	88%	103%	121%	115%	104%	105%	100%	102%
														(86%)	(87%)	(91%)	(91%)	(87%)	(92%)	(91%)	(85%)	(90%)
販売数量計 (※平成31年との比較)	100%	106%	108%	94%	86%	97%	95%	95%	96%	98%	97%	100%	98%	97%	92%	91%	102%	111%	101%	102%	101%	101%
														(97%)	(98%)	(98%)	(96%)	(96%)	(98%)	(97%)	(96%)	(96%)

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者（年間取扱数量約160万ト(令和2年産主食用米等の生産量723万トの約2割)）である。
2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。
3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。
4：令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年(4月までは平成31年)の同月との比較をした値を記載。

【購入数量の推移(家計調査)】

(単位：Kg、%)

	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月~ 12月計	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
購入数量	3.52	4.60	5.54	5.44	5.11	4.94	4.90	5.06	7.04	7.71	5.25	5.48	64.53	3.92	4.12	4.99	4.81	4.88	4.73	4.32	5.09	6.26
前年比	90.0%	100.9%	116.9%	108.2%	108.5%	102.1%	107.9%	110.2%	109.7%	94.5%	96.9%	102.4%	103.7%	111.4%	89.6%	90.1%	88.4%	95.5%	95.7%	88.2%	100.6%	88.9%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

【民間在庫量の推移(出荷+販売段階)】

(単位：万玄米トン)

		当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
2 / 3 年	出荷+販売段階	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
	出荷段階	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
	販売段階	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
3 / 4 年	出荷+販売段階	138	118	214									
	対前年差	+19	+17	+24									
	出荷段階	106	90	178									
	対前年差	+22	+20	+27									
	販売段階	32	28	36									
	対前年差	▲3	▲2	▲3									

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。
2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。
3 期間については、3/4年であれば、令和3年7月~4年6月である。

産地別民間在庫の状況（令和3年9月）

（単位：千玄米トン）

	2年 8月 ① (千玄米トン)	2年 9月 ② (千玄米トン)	3年 8月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	3年 9月 ⑥ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑦=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑧=⑥/② (%)
北海道	84.6	141.9	125.1	+ 40.5	+ 47.9%	231.2	+ 89.4	+ 63.0%
青森	61.1	82.5	68.1	+ 7.0	+ 11.4%	108.7	+ 26.2	+ 31.8%
岩手	49.6	47.2	54.5	+ 4.9	+ 9.9%	59.9	+ 12.7	+ 27.0%
宮城	68.9	91.6	97.4	+ 28.6	+ 41.5%	137.3	+ 45.7	+ 49.9%
秋田	57.2	140.5	73.3	+ 16.2	+ 28.3%	160.0	+ 19.4	+ 13.8%
山形	69.0	95.0	71.4	+ 2.4	+ 3.5%	103.3	+ 8.3	+ 8.7%
福島	87.1	89.8	77.2	▲ 9.9	▲ 11.4%	83.5	▲ 6.3	▲ 7.0%
茨城	46.1	126.3	53.3	+ 7.2	+ 15.6%	138.3	+ 12.1	+ 9.6%
栃木	52.5	111.3	80.5	+ 28.0	+ 53.2%	140.1	+ 28.8	+ 25.8%
群馬	6.7	5.5	9.4	+ 2.7	+ 39.8%	8.3	+ 2.8	+ 50.7%
埼玉	7.7	17.1	14.5	+ 6.8	+ 87.3%	23.7	+ 6.6	+ 38.7%
千葉	49.2	104.5	66.6	+ 17.4	+ 35.3%	107.9	+ 3.4	+ 3.2%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.5	0.6	0.4	▲ 0.2	▲ 32.2%	0.6	▲ 0.1	▲ 13.1%
山梨	1.4	1.7	1.3	▲ 0.1	▲ 9.7%	1.8	+ 0.1	+ 6.0%
長野	20.8	30.3	23.8	+ 3.0	+ 14.5%	30.9	+ 0.7	+ 2.1%
静岡	5.3	16.2	3.7	▲ 1.6	▲ 30.9%	15.2	▲ 1.0	▲ 6.1%
新潟	53.6	225.0	58.1	+ 4.5	+ 8.4%	213.8	▲ 11.3	▲ 5.0%
富山	19.9	79.2	29.7	+ 9.8	+ 49.5%	76.9	▲ 2.4	▲ 3.0%
石川	11.6	54.6	20.1	+ 8.5	+ 72.8%	64.3	+ 9.7	+ 17.7%
福井	19.2	47.9	22.3	+ 3.1	+ 16.1%	51.8	+ 3.9	+ 8.2%
岐阜	12.4	13.1	10.3	▲ 2.1	▲ 17.2%	11.5	▲ 1.6	▲ 12.5%
愛知	11.1	16.5	10.7	▲ 0.4	▲ 3.6%	14.2	▲ 2.3	▲ 13.9%
三重	15.1	34.2	14.1	▲ 1.0	▲ 6.7%	37.1	+ 2.9	+ 8.4%

	2年 8月 ① (千玄米トン)	2年 9月 ② (千玄米トン)	3年 8月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	3年 9月 ⑥ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑦=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑧=⑥/② (%)
滋賀	16.3	53.8	18.0	+ 1.7	+ 10.1%	53.7	▲ 0.1	▲ 0.2%
京都	3.4	10.4	4.4	+ 1.0	+ 29.8%	10.0	▲ 0.4	▲ 3.6%
大阪	0.4	0.4	0.2	▲ 0.2	▲ 54.6%	0.3	▲ 0.1	▲ 28.4%
兵庫	15.3	31.1	14.7	▲ 0.5	▲ 3.6%	28.0	▲ 3.1	▲ 10.0%
奈良	2.5	2.5	2.2	▲ 0.3	▲ 11.8%	2.1	▲ 0.4	▲ 14.9%
和歌山	0.6	0.8	0.4	▲ 0.1	▲ 25.6%	0.7	▲ 0.1	▲ 17.7%
鳥取	6.1	10.5	9.2	+ 3.1	+ 51.2%	12.8	+ 2.4	+ 22.5%
島根	4.5	17.4	7.1	+ 2.6	+ 56.9%	17.1	▲ 0.2	▲ 1.3%
岡山	18.3	23.8	13.9	▲ 4.4	▲ 24.1%	15.3	▲ 8.5	▲ 35.6%
広島	8.4	23.7	10.4	+ 2.0	+ 24.3%	23.9	+ 0.2	+ 1.0%
山口	8.6	15.5	4.2	▲ 4.4	▲ 51.3%	11.9	▲ 3.6	▲ 23.4%
徳島	10.8	17.3	9.2	▲ 1.6	▲ 14.8%	16.1	▲ 1.1	▲ 6.6%
香川	5.7	7.1	5.9	+ 0.2	+ 2.9%	4.8	▲ 2.3	▲ 32.9%
愛媛	3.7	5.8	2.5	▲ 1.2	▲ 32.3%	5.3	▲ 0.5	▲ 8.4%
高知	8.0	7.8	8.0	▲ 0.0	▲ 0.2%	8.7	+ 1.0	+ 12.4%
福岡	9.6	18.1	9.7	+ 0.1	+ 1.3%	19.1	+ 0.9	+ 5.0%
佐賀	9.7	9.1	6.9	▲ 2.7	▲ 28.3%	8.0	▲ 1.0	▲ 11.3%
長崎	2.3	2.5	1.9	▲ 0.5	▲ 19.4%	2.3	▲ 0.2	▲ 6.1%
熊本	11.4	12.3	14.5	+ 3.1	+ 27.2%	14.3	+ 2.0	+ 16.2%
大分	3.3	4.7	3.5	+ 0.2	+ 5.8%	5.2	+ 0.5	+ 10.8%
宮崎	6.7	3.2	8.3	+ 1.6	+ 24.4%	4.9	+ 1.8	+ 55.9%
鹿児島	8.5	7.9	8.8	+ 0.3	+ 3.4%	9.2	+ 1.3	+ 16.9%
沖縄	0.4	0.3	0.5	+ 0.1	+ 20.7%	0.4	+ 0.1	+ 34.2%
全国	101万ト	190万ト	118万ト	+17万ト	+16.8%	214万ト	+24万ト	+12.6%

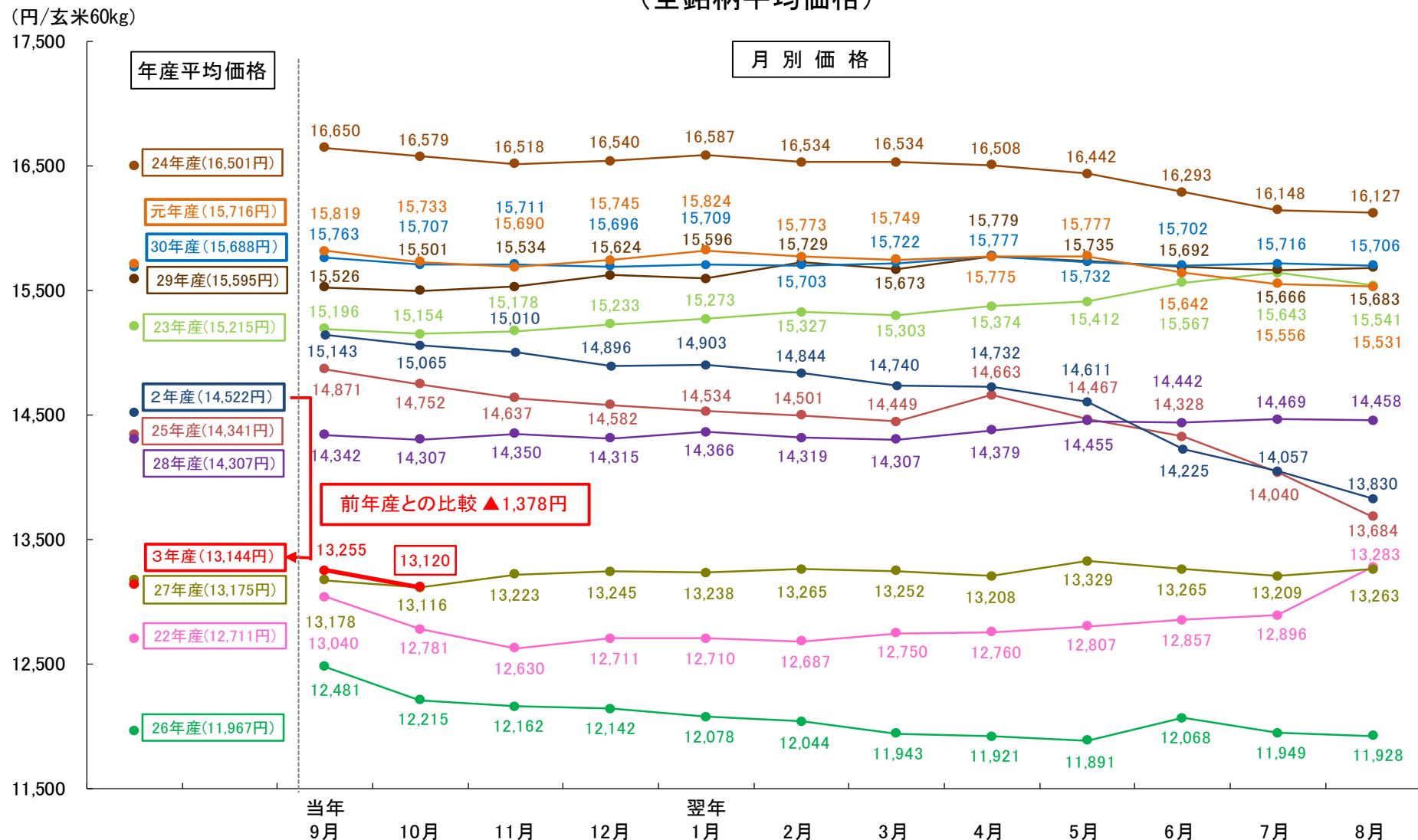
資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

産地と卸間の相対取引価格の推移

相対取引価格の推移（税込） （全銘柄平均価格）



資料：農林水産省調べ

注1：運賃、包装代、消費税相当額（平成26年3月までは5%、元年9月までは8%、元年10月以降は10%、ただし軽減税率対象は8%）を含む1等米の価格である。

注2：グラフの左側は各年産の通年平均価格（当該年産の出回りから翌年10月（2年産、3年産は令和3年10月までの速報値）まで）、右側は月ごとの価格の推移。

令和3年産米の相対取引価格(令和3年10月の年産平均価格)

(単位：円／玄米60kg(税込))

産地品種銘柄		令和3年産 〔出回り～ 3年10月〕	令和2年産 〔出回り～ 3年10月〕	価格差 ①－②
①	②	①	②	①－②
北海道	ななつぼし	12,619	14,382	▲ 1,763
北海道	ゆめぴりか	16,221	16,945	▲ 724
北海道	きらら397	12,671	13,379	▲ 708
青森	まつしぐら	12,105	12,657	▲ 552
青森	つがるロマン	11,100	13,379	▲ 2,279
岩手	ひとめぼれ	12,988	14,390	▲ 1,402
岩手	あきたこまち	12,924	13,349	▲ 425
岩手	銀河のしずく	13,543	15,361	▲ 1,818
宮城	ひとめぼれ	12,281	14,085	▲ 1,804
宮城	つや姫	13,186	14,508	▲ 1,322
宮城	ササニシキ	12,893	13,819	▲ 926
秋田	あきたこまち	13,221	14,450	▲ 1,229
秋田	めんこいな	12,337	13,040	▲ 703
秋田	ひとめぼれ	12,292	13,275	▲ 983
山形	はえぬき	12,703	13,962	▲ 1,259
山形	つや姫	18,586	18,540	+ 46
山形	雪若丸	13,221	-	-
福島	コシヒカリ(中通り)	11,617	13,276	▲ 1,659
福島	コシヒカリ(会津)	12,612	14,899	▲ 2,287
福島	コシヒカリ(浜通り)	11,682	13,603	▲ 1,921
福島	ひとめぼれ	11,235	13,048	▲ 1,813
福島	天のつづ	12,447	12,531	▲ 84
茨城	コシヒカリ	11,975	13,379	▲ 1,404
茨城	あきたこまち	11,263	13,536	▲ 2,273
茨城	あさひの夢	-	12,737	-
栃木	コシヒカリ	12,239	13,383	▲ 1,144
栃木	あさひの夢	10,263	12,390	▲ 2,127
栃木	とちぎの星	9,462	11,668	▲ 2,206
群馬	あさひの夢	-	12,412	-
群馬	ゆめまつり	-	11,744	-
埼玉	彩のかがやき	11,527	11,799	▲ 272
埼玉	彩のきずな	12,895	12,046	+ 849
埼玉	コシヒカリ	12,595	12,515	+ 80
千葉	コシヒカリ	11,510	13,554	▲ 2,044
千葉	ふさこがね	10,190	12,955	▲ 2,765
千葉	ふさおとめ	10,756	13,363	▲ 2,607
山梨	コシヒカリ	17,857	18,259	▲ 402
長野	コシヒカリ	14,213	14,953	▲ 740
長野	あきたこまち	13,663	14,835	▲ 1,172
静岡	コシヒカリ	14,578	15,531	▲ 953

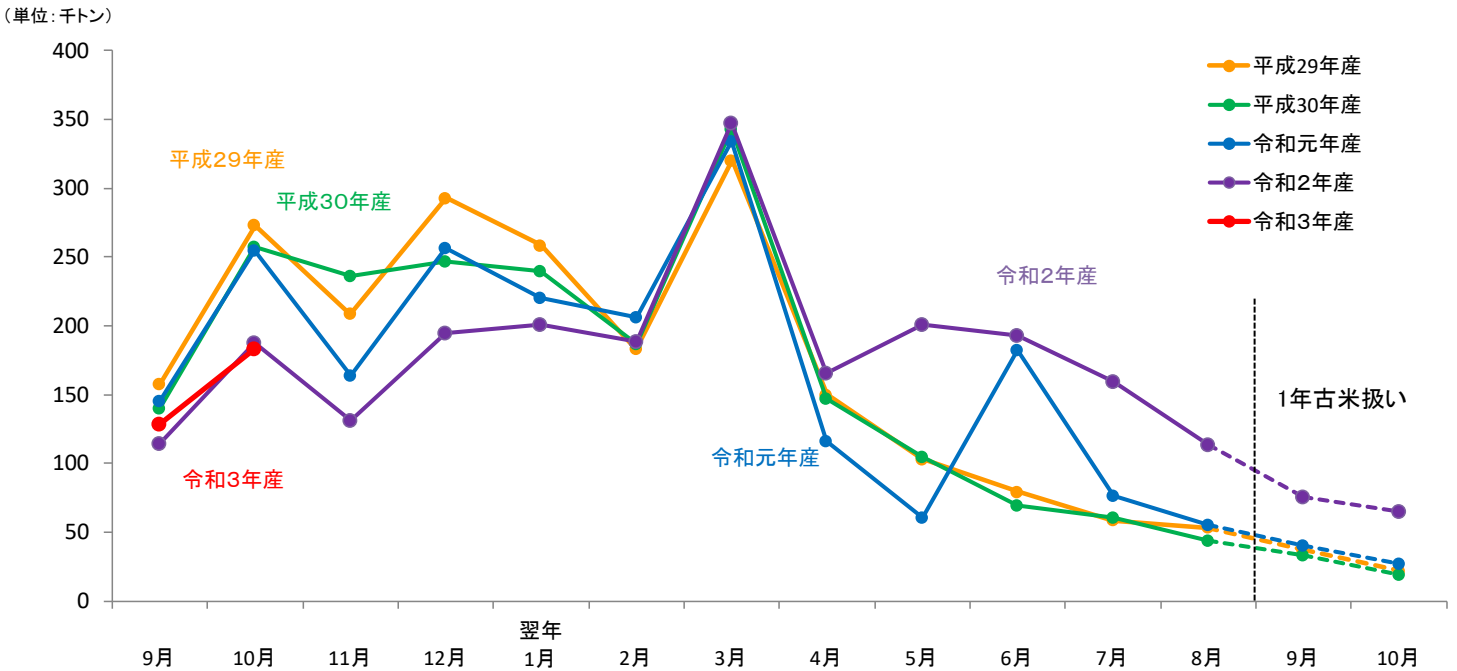
産地品種銘柄		令和3年産 〔出回り～ 3年10月〕	令和2年産 〔出回り～ 3年10月〕	価格差 ①－②
①	②	①	②	①－②
静岡	きぬむすめ	-	14,776	-
静岡	あいちのかおり	-	14,726	-
新潟	コシヒカリ(一般)	15,689	16,526	▲ 837
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,183	20,307	▲ 124
新潟	コシヒカリ(佐渡)	16,192	17,059	▲ 867
新潟	コシヒカリ(岩船)	16,184	16,926	▲ 742
新潟	こしいぶき	12,787	14,247	▲ 1,460
富山	コシヒカリ	13,607	15,478	▲ 1,871
富山	てんたかく	12,611	14,495	▲ 1,884
石川	コシヒカリ	14,252	15,293	▲ 1,041
石川	ゆめみづほ	12,715	14,142	▲ 1,427
福井	コシヒカリ	13,793	15,602	▲ 1,809
福井	ハナエチゼン	12,261	14,365	▲ 2,104
福井	あきさかり	11,839	14,215	▲ 2,376
岐阜	ハツシモ	13,056	14,642	▲ 1,586
岐阜	コシヒカリ	14,263	14,904	▲ 641
岐阜	あさひの夢	-	13,454	-
愛知	あいちのかおり	13,131	13,860	▲ 729
愛知	コシヒカリ	12,525	14,524	▲ 1,999
愛知	大地の風	-	14,118	-
三重	コシヒカリ(一般)	12,708	14,859	▲ 2,151
三重	コシヒカリ(伊賀)	13,162	15,361	▲ 2,199
三重	キヌヒカリ	10,964	13,952	▲ 2,988
滋賀	コシヒカリ	14,084	15,249	▲ 1,165
滋賀	キヌヒカリ	12,607	14,195	▲ 1,588
滋賀	みずかがみ	13,727	15,111	▲ 1,384
京都	コシヒカリ	13,881	15,808	▲ 1,927
京都	キヌヒカリ	11,943	14,999	▲ 3,056
京都	ヒノヒカリ	-	15,872	-
兵庫	コシヒカリ	13,955	15,452	▲ 1,497
兵庫	ヒノヒカリ	12,350	13,786	▲ 1,436
兵庫	キヌヒカリ	12,197	13,978	▲ 1,781
奈良	ヒノヒカリ	-	14,630	-
鳥取	きぬむすめ	12,961	14,233	▲ 1,272
鳥取	コシヒカリ	13,393	14,855	▲ 1,462
鳥取	ひとめぼれ	12,631	14,031	▲ 1,400
島根	コシヒカリ	13,673	15,397	▲ 1,724
島根	きぬむすめ	12,774	14,500	▲ 1,726
島根	つや姫	13,389	15,234	▲ 1,845
岡山	アケボノ	10,386	13,242	▲ 2,856

産地品種銘柄		令和3年産 〔出回り～ 3年10月〕	令和2年産 〔出回り～ 3年10月〕	価格差 ①－②
①	②	①	②	①－②
岡山	コシヒカリ	12,612	-	-
岡山	きぬむすめ	11,495	14,411	▲ 2,916
広島	コシヒカリ	13,838	14,973	▲ 1,135
広島	あきさかり	13,182	13,926	▲ 744
広島	あきろまん	13,068	14,116	▲ 1,048
山口	コシヒカリ	13,757	15,214	▲ 1,457
山口	ひとめぼれ	13,010	14,484	▲ 1,474
山口	ヒノヒカリ	12,656	14,409	▲ 1,753
徳島	コシヒカリ	12,573	14,947	▲ 2,374
徳島	あきさかり	11,136	12,066	▲ 930
香川	コシヒカリ	-	15,406	-
香川	ヒノヒカリ	-	14,866	-
香川	おいでまい	-	15,406	-
愛媛	コシヒカリ	14,633	15,456	▲ 823
愛媛	ヒノヒカリ	-	14,861	-
愛媛	あきたこまち	13,907	14,777	▲ 870
高知	コシヒカリ	13,555	15,021	▲ 1,466
高知	ヒノヒカリ	12,711	14,291	▲ 1,580
福岡	夢つくし	15,538	16,321	▲ 783
福岡	ヒノヒカリ	14,174	15,433	▲ 1,259
福岡	元気つくし	15,231	16,154	▲ 923
佐賀	夢しずく	13,843	14,539	▲ 696
佐賀	さがびより	13,971	15,129	▲ 1,158
佐賀	ヒノヒカリ	-	14,263	-
長崎	ヒノヒカリ	-	14,803	-
長崎	にこまる	-	15,090	-
長崎	コシヒカリ	15,189	15,891	▲ 702
熊本	ヒノヒカリ	13,378	15,410	▲ 2,032
熊本	森のくまさん	-	15,056	-
熊本	コシヒカリ	14,690	16,259	▲ 1,569
大分	ヒノヒカリ	14,004	15,337	▲ 1,333
大分	ひとめぼれ	13,602	15,258	▲ 1,656
大分	つや姫	14,229	15,392	▲ 1,163
宮崎	コシヒカリ	-	15,292	-
宮崎	ヒノヒカリ	-	15,960	-
鹿児島	ヒノヒカリ	13,211	16,595	▲ 3,384
鹿児島	あきほなみ	-	17,073	-
鹿児島	コシヒカリ	14,764	16,323	▲ 1,559
全銘柄平均価格		13,144	14,522	▲ 1,378

注1：農林水産省が調査・公表した出回りからの年産平均価格(令和2年産、令和3年産は令和3年10月までの速報値)であり、調査対象事業者は、一定規模以上の集荷業者(年間の販売数量5,000トン以上等)。
2：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。なお、令和元年10月以降は、軽減税率の対象である米穀の包装代などの品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
3：「－」については、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄又は取引数量の累計が100トン未満であり、公表を行っていないもの。

相対取引契約数量の推移

○ 令和2年産米の相対取引契約数量は、出来秋以降、令和3年1月まで低調に推移。しかし、その後回復基調にあり、特に5月以降は、3年産の主食用米からの作付転換の進展が見込まれることなどから、近年で最も多い契約数量となっている。



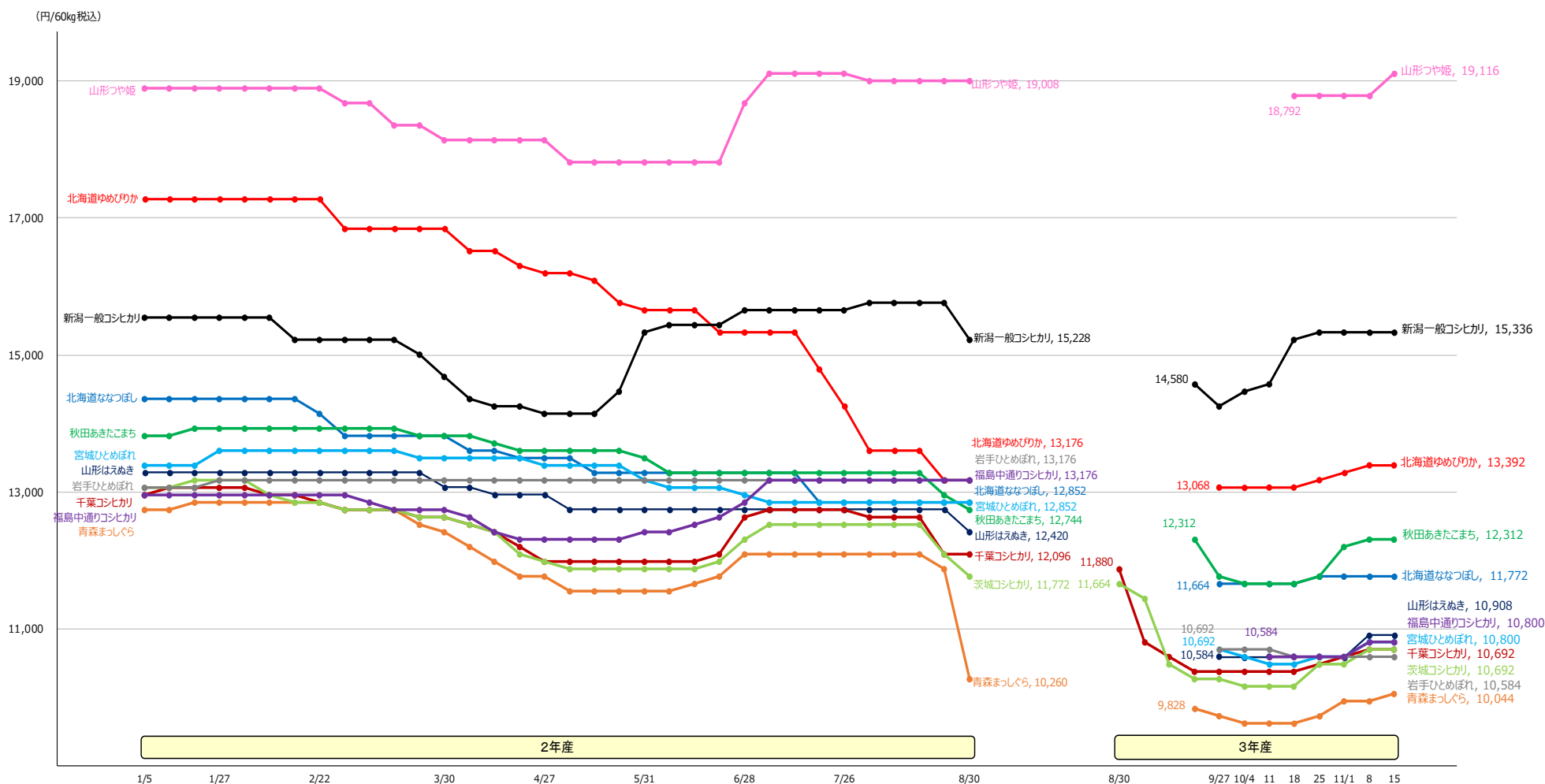
年産	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
平成29年産	158	273	209	293	258	183	320	150	103	79	59	53	37	22	2,241
平成30年産	140	258	236	247	240	187	343	147	105	70	61	44	33	19	2,193
令和元年産	145	254	164	257	221	207	334	117	61	183	76	55	41	27	2,191
令和2年産	115	188	131	195	201	189	347	166	201	193	159	113	76	65	2,371
令和3年産	129	183													

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 相対取引数量は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の数量の合計（2年産、3年産はいずれも速報値）である。
- 3 相対取引数量の合計欄は、出回りから生産年の翌年10月（2年産、3年産は令和3年10月）までの数量であるため、各月の合計と一致しない。

令和2・3年産米のスポット価格の推移(令和3年11月15日時点)

○ 令和3年産のスポット価格については、2年産の出来秋に比べ、低い水準で取引がスタートしたが、10月中旬以降、一部銘柄を除いて、回復基調で推移。
(参考)スポット取引:主に中小規模の卸売業者間で行う、10トン~数十トン程度の小ロットの売買。



注:スポット価格は、米穀データバンク発行「日刊・米穀市況速報」(関東相場、東京着地基準、下限値、税抜)の価格を農林水産省が税込に加工。

令和3年産の水田における作付状況(令和3年9月15日時点)

- ・ 全国の主食用米の作付面積については、前年実績（136.6万ha）から6.3万ha減少（▲4.6%）し、130.3万haとなった。
- ・ また、戦略作物等については、飼料用米、加工用米、米粉用米、麦等が前年より増加した。

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

【主食用米及び戦略作物等の作付状況】

	主食用米	戦略作物等									備蓄米
		加工用米	新規需要米				麦	大豆	その他	戦略作物等 合計面積	
			飼料用米	WCS用稲 〔稲発酵粗 飼料用稲〕	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)					
H27年産	140.6	4.7	8.0	3.8	0.4	0.2	9.9	8.7	10.0	45.7	4.5
H28年産	138.1	5.1	9.1	4.1	0.3	0.1	9.9	8.9	10.2	47.7	4.0
H29年産	137.0	5.2	9.2	4.3	0.5	0.1	9.8	9.0	10.2	48.3	3.5
H30年産	138.6	5.1	8.0	4.3	0.5	0.4	9.7	8.8	10.2	47.0	2.2
R元年産	137.9	4.7	7.3	4.2	0.5	0.4	9.7	8.6	10.2	45.6	3.3
R2年産	136.6	4.5	7.1	4.3	0.6	0.6	9.8	8.5	10.2	45.6	3.7
R3年産	130.3	4.8	11.6	4.4	0.8	0.7	10.2	8.5	10.2	51.2	3.6

注1：加工用米及び新規需要米（米粉用米、飼料用米、WCS、新市場開拓用米）は取組計画の認定面積。
注2：備蓄米は、地域農業再生協議会が把握した面積。
注3：その他は、飼料作物、そば、なたねの面積。
注4：麦、大豆、その他（基幹作のみ）は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積。

令和3年産の水田における都道府県別の作付状況(令和3年9月15日時点)①

都道府県	主食用米			戦略作物等										備蓄米	
				新規需要米						麦	大豆	飼料作物	そば		なたね
	加工用米	飼料用米	WCS 稲発酵 粗飼料用稲	米粉用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	その他									
							前年産 (2年産) ②	増減 ①－②							
①	②	①－②													
全国計	130.3万	136.6万	▲6.3万	47,641	115,744	44,248	7,632	6,748	124	101,760	85,484	72,917	28,210	752	36,435
北海道	88,400	95,300	▲6,900	6,178	6,513	620	72	1,066	－	35,215	18,599	25,867	8,603	543	387
青森	34,200	38,300	▲4,100	853	7,701	660	16	283	－	578	4,414	4,883	1,227	10	6,360
岩手	46,200	48,200	▲2,000	1,196	4,683	1,939	71	343	1	3,310	3,764	7,794	625	15	656
宮城	61,000	64,500	▲3,500	581	8,076	2,244	150	748	1	1,892	9,175	5,363	447	1	2,130
秋田	71,400	75,300	▲3,900	8,855	3,903	1,106	425	296	2	170	8,139	2,150	3,181	12	3,723
山形	54,900	56,500	▲1,600	3,876	4,628	966	112	285	3	73	4,413	2,784	4,591	5	3,728
福島	54,700	59,200	▲4,500	397	10,038	1,031	7	38	1	273	711	1,692	1,794	51	5,335
茨城	61,400	65,500	▲4,100	1,135	11,760	571	43	441	3	4,298	423	491	339	4	453
栃木	50,600	54,900	▲4,300	1,512	12,482	1,769	1,099	93	4	6,866	343	2,927	1,077	1	1,485
群馬	13,000	13,600	▲600	1,350	1,321	539	369	4	－	1,913	102	185	34	2	152
埼玉	28,800	30,600	▲1,800	118	2,910	116	912	41	－	1,856	341	121	44	3	94
千葉	48,100	52,500	▲4,400	1,499	8,190	995	84	13	－	477	281	350	7	1	922
東京	120	124	▲4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
神奈川	2,920	2,990	▲70	－	10	0	－	－	－	4	6	6	1	－	－
新潟	101,800	106,700	▲4,900	7,097	3,768	400	2,145	1,497	0	139	3,745	297	776	－	4,529
富山	32,200	33,200	▲1,000	1,215	1,952	453	178	416	－	2,999	3,446	273	229	15	2,271
石川	21,400	22,600	▲1,200	386	1,389	99	350	81	－	927	896	26	144	0	1,486
福井	22,500	23,300	▲800	348	1,490	97	196	156	－	4,732	114	44	485	－	1,251
山梨	4,760	4,800	▲40	76	18	15	12	－	－	57	98	26	110	0	－
長野	30,400	30,700	▲300	615	362	215	18	158	－	2,385	534	531	2,263	0	233
岐阜	20,700	21,400	▲700	616	3,009	208	48	73	－	3,445	378	611	268	－	92
静岡	15,200	15,400	▲200	140	1,075	297	2	1	－	256	45	40	32	－	4
愛知	25,800	26,400	▲600	421	2,086	156	53	37	0	5,317	95	129	5	9	166
三重	25,900	26,700	▲800	197	2,043	268	91	37	－	6,693	316	119	12	16	53

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。
※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。
※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

令和3年産の水田における都道府県別の作付状況(令和3年9月15日時点)②

都道府県	主食用米			戦略作物等											備蓄米
				新規需要米						麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	
	加工用米	飼料用米	WCS （稲発酵粗飼料用稲）	米粉用米	新市場 開拓用米 （輸出用米等）	その他									
①							前年産 （2年産） ②	増 減 ①－②							
滋 賀	28,900	29,700	▲ 800	644	1,681	277	58	203	－	7,462	468	159	114	20	268
京 都	13,600	13,800	▲ 200	562	101	120	9	15	－	256	241	56	110	－	－
大 阪	4,620	4,700	▲ 80	0	6	－	5	－	0	3	6	1	0	－	－
兵 庫	34,100	34,800	▲ 700	726	554	866	34	163	5	1,751	1,833	794	152	13	－
奈 良	8,400	8,430	▲ 30	19	34	40	30	0	－	62	25	4	0	0	－
和歌山	6,100	6,250	▲ 150	－	2	2	1	－	－	3	13	4	2	－	－
鳥 取	12,400	12,800	▲ 400	24	707	338	1	5	0	23	599	784	308	2	79
島 根	16,500	16,800	▲ 300	303	779	569	9	2	1	263	575	436	315	3	25
岡 山	27,900	28,900	▲ 1,000	316	1,730	346	124	126	－	1,260	1,102	877	112	0	181
広 島	21,700	22,000	▲ 300	320	424	585	124	21	0	309	232	934	257	－	4
山 口	17,400	17,800	▲ 400	971	978	313	38	2	1	740	750	897	49	0	－
徳 島	9,980	10,700	▲ 720	20	881	217	11	41	－	56	9	93	2	－	244
香 川	11,300	11,600	▲ 300	38	139	142	7	1	－	1,138	54	123	15	1	－
愛 媛	13,200	13,300	▲ 100	43	271	159	2	－	－	514	315	220	3	－	－
高 知	11,000	11,200	▲ 200	68	991	263	17	－	－	4	59	125	1	－	2
福 岡	34,100	34,400	▲ 300	228	2,192	1,657	327	8	－	1,583	7,830	407	46	3	16
佐 賀	22,800	23,400	▲ 600	383	730	1,700	29	4	0	948	6,929	367	14	2	44
長 崎	10,800	11,000	▲ 200	10	112	1,307	5	3	－	70	295	1,891	42	2	－
熊 本	31,200	32,300	▲ 1,100	757	1,295	7,994	300	21	71	775	2,051	2,150	183	9	45
大 分	19,400	20,000	▲ 600	136	1,565	2,432	15	－	－	579	1,242	974	83	5	19
宮 崎	13,900	14,300	▲ 400	1,926	486	6,700	16	26	28	18	204	2,788	41	0	－
鹿児島	17,100	17,800	▲ 700	1,451	679	3,451	11	1	2	67	272	2,102	67	2	－
沖 縄	623	630	▲ 7	37	－	5	7	－	－	－	－	20	－	－	－

※1 主食用米は統計部公表の都道府県別の主食用米面積。
※2 加工用米及び新規需要米は取組計画の認定面積で、備蓄米は地域農業再生協議会が把握した面積。
※3 麦、大豆、飼料作物、そば、なたねは地方農政局等が都道府県農業再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。

コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況

品 目 名		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年		(参考) 主な輸出先国
						1～9月	対前年比	
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	28,668トン	32,202トン	35,505トン	36,442トン	31,603トン	+32%	アメリカ 香港 中国 台湾 シンガポール
	金額	264億円	309億円	329億円	347億円	357億円	+66%	
コメ (援助米を除く)	数量	11,841トン	13,794トン	17,381トン	19,687トン	15,673トン	+16%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 オーストラリア
	金額	32億円	38億円	46億円	53億円	41億円	+12%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	3,849トン	4,053トン	4,033トン	4,222トン	3,786トン	+29%	アメリカ 台湾 香港 中国 シンガポール
	原料米換算	3,272トン	3,445トン	3,428トン	3,589トン	3,218トン	+29%	
	金額	42億円	44億円	43億円	45億円	41億円	+31%	
日本酒 (清酒)	数量	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	21,761 キロリットル	22,568 キロリットル	+62%	中国 香港 アメリカ シンガポール 台湾
	原料米換算	13,227トン	14,502トン	14,041トン	12,257トン	12,712トン	+62%	
	金額	187億円	222億円	234億円	241億円	275億円	+88%	
パックご飯等	数量	658トン	923トン	1,018トン	1,203トン	839トン	-2%	アメリカ 香港 台湾 ベトナム タイ
	原料米換算	346トン	485トン	535トン	632トン	441トン	-2%	
	金額	3億円	5億円	5億円	7億円	4億円	-7%	
米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量			118トン	249トン	67トン	-57%	タイ オランダ アメリカ 台湾 香港
	原料米換算			146トン	308トン	83トン	-57%	
	金額			0.3億円	0.7億円	0.4億円	-18%	
コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品	数量 (原料米換算)	12,187トン	14,279トン	18,062トン	20,627トン	16,197トン	+14%	アメリカ 香港 中国 台湾 シンガポール
	金額	35億円	42億円	52億円	60億円	46億円	+9%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。パックご飯等は2017年より、米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

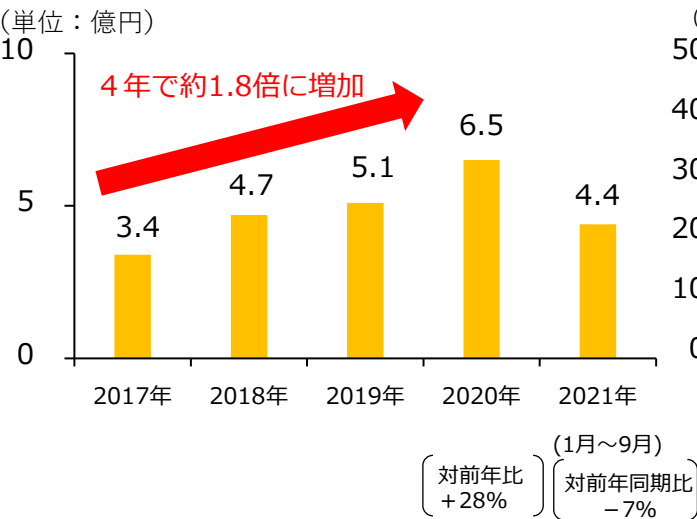
注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

注3：2021年のパックご飯等の実績は財務省貿易統計HPIに掲載されている「確報値公表後における修正情報の掲載について」（<https://www.customs.go.jp/toukei/sankou/teisei/>）におけるフィリピン向けの数量及び金額の修正を農林水産省にて反映させたもの。

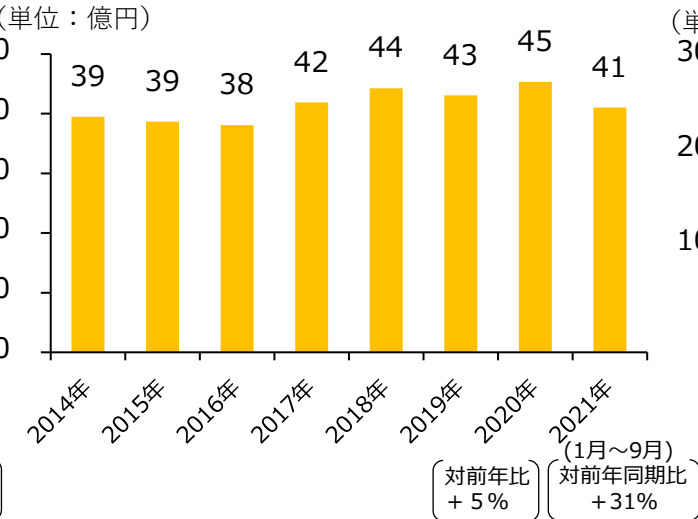
パックご飯・米菓・日本酒の輸出実績の推移

- パックご飯の輸出については、香港・台湾向けが大きく増加したこと等から、2020年の輸出金額・輸出量はともに増加。
- 米菓の輸出については、台湾向けが増加したこと等から、2020年の輸出金額・輸出量はともに増加。
- 日本酒の輸出については、香港向けが大きく増加したこと等から、2020年の輸出金額は増加。

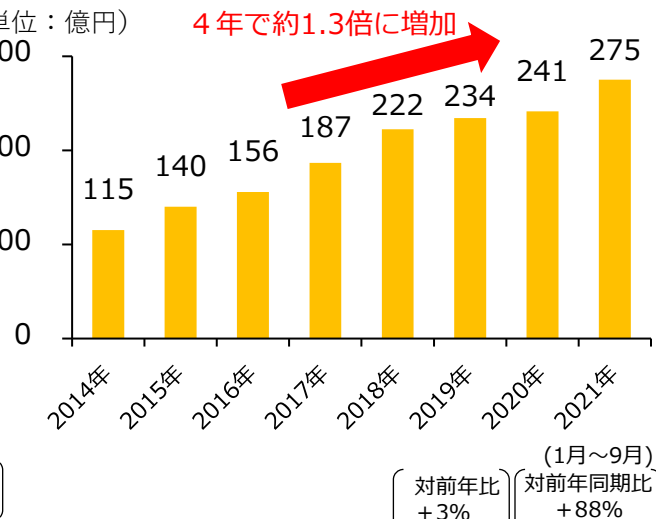
● パックご飯の輸出実績



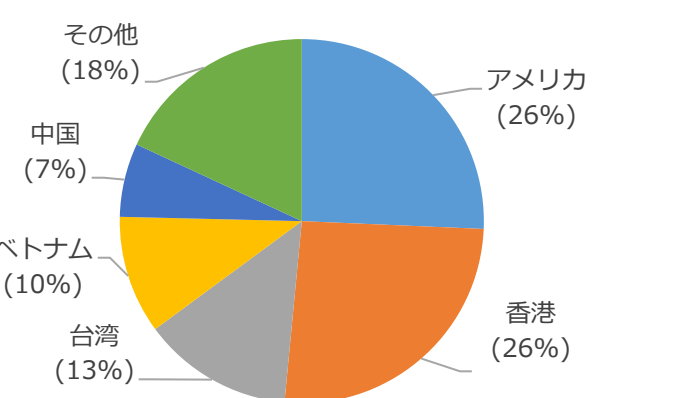
● 米菓の輸出実績



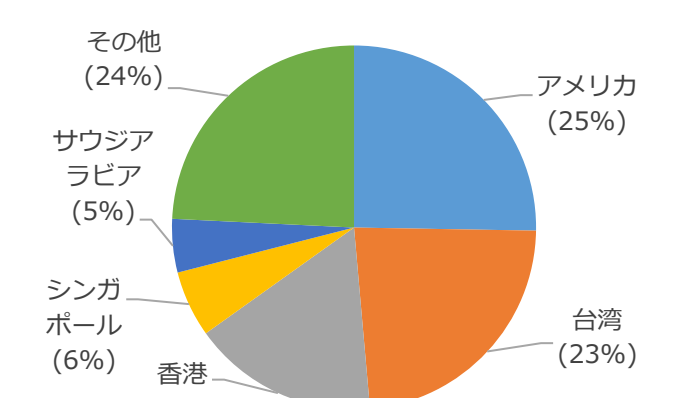
● 日本酒の輸出実績



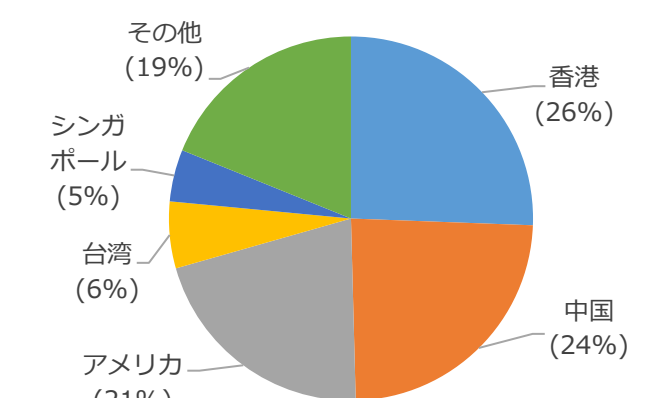
■ パックご飯の輸出先国内訳 (金額ベース) (2020年)



■ 米菓の輸出先国内訳 (金額ベース) (2020年)



■ 日本酒の輸出先国内訳 (金額ベース) (2020年)



※資料：財務省「貿易統計」
(注) パックご飯等は2017年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。